

土岐市老人保健施設やすらぎのあり方検討委員会について

1 「老人保健施設やすらぎ」について

(1) 介護老人保健施設とは

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスを提供し、在宅復帰や在宅療養支援などを行う施設。

(2) 施設の概要について

建物概要	鉄筋コン造 地上2階、地下1階 総床面積 4,112.8 m ²
提供サービス (定員)	入所およびショートステイ (短期入所療養介護) 1階：一般棟 (60名) 2階：認知症専門棟 (40名) 通所リハビリテーション (25名)
居室	従来型多床室 (4人部屋 23室)、従来型個室 (8室)
利用条件	65歳以上で要介護1以上 (ただし、通所リハは要支援も可)
入所期間	原則3～6ヶ月程度

(3) 施設の沿革について

- 平成11年3月…土岐市立総合病院において、急性期医療から回復期医療を経て在宅医療に繋ぐための完結型医療連携施設として、土岐市老人保健施設やすらぎを病院併設型施設として設置。
短期入所療養介護を含む入所施設サービス及び、通所リハビリテーションの居宅系介護サービスにより運営を開始。
- 令和2年4月…土岐市病院事業実施施設として指定管理者制度の適用を開始。
介護スタッフの退職等に伴い、入所利用を1階一般棟に限定して運営を継続。

現在に至る

2 あり方検討委員会設置の目的

土岐市老人保健施設やすらぎは、土岐市立総合病院等の指定管理者制度への導入に伴い、令和2年4月からJ A岐阜厚生連を指定管理者として運営しています。

しかしながら、医療・介護分野の人員不足等に伴い、現在、定員100名のところを60名に縮小して運営しています。

市では、令和3年に改訂された「土岐市公共施設等総合管理計画」において、老健やすらぎについて「利用状況等精査し、方向性を検討する」としていることを受け、施設サービスの需給見通し等を勘案しつつ今後の施設の方向性を検討するためには、広く市民意見を聴取することが必要との認識から、市民の代表者や医療・介護・福祉関係者などで構成する本委員会を設置し、介護老人保健施設を取り巻く環境の変化を踏まえた今後の公共施設としてのあり方について協議することとします。

3 今後のスケジュール

1月23日 第1回あり方検討委員会（委員会の設置目的、老健施設の現状把握等）

3月 6日 第2回あり方検討委員会

以降、協議継続 → 報告書案 → 報告まとめ → 市長報告

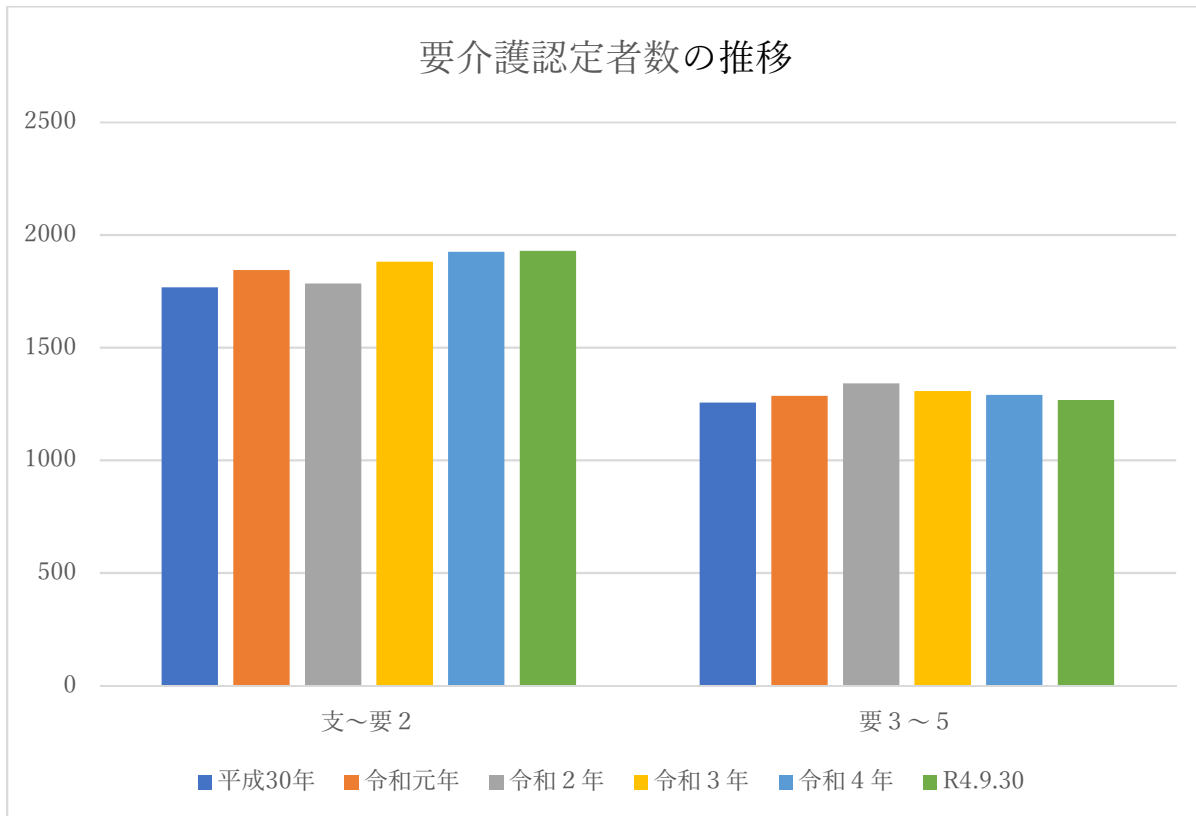
○土岐市の介護サービスに係る現状について

1. 要介護・支援者数の推移（各年3月31日現在・第1号被保険者のみ）

(人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	R4.9.30
要支援1～要介護2	1,768	1,844	1,785	1,881	1,925	1,929
要支援1	209	218	206	235	236	239
要支援2	446	479	464	481	516	528
要介護1	452	502	511	527	577	553
要介護2	661	645	604	638	596	609
要介護3～5	1,256	1,286	1,342	1,308	1,291	1,267
要介護3	500	478	518	523	530	510
要介護4	463	483	513	494	463	465
要介護5	293	325	311	291	298	292
合 計	3,024	3,130	3,127	3,189	3,216	3,196

※網掛け箇所は、前年比増を示す



2. 介護サービス給付費の推移（平成30年度から令和4年度(推計)実績比較）

(千円)

区分	H30	R 1	R 2	R 3	R 4※	施設充足度		R 5以降の 給付費予測
						市内のみ	近隣市含	
居宅サービス	2,930,475	2,963,023	3,071,167	3,070,849	3,086,031			上昇傾向
訪問介護	508,050	506,871	542,343	561,767	584,083	均衡	均衡	上昇傾向
訪問看護	154,702	157,703	170,426	181,691	189,875	充足	充足	上昇傾向
訪問リハ	389	451	158	502	671	不足	充足	上昇傾向
通所介護	1,272,269	1,297,642	1,331,249	1,320,391	1,315,475	充足	充足	停滞
通所リハ	120,152	115,071	91,749	92,837	87,206	不足	均衡	下降傾向
短期入所	216,891	201,208	229,127	181,865	181,163	不足	不足	停滞
同(老健)	27,611	33,528	26,852	28,967	26,125	不足	不足	停滞
福祉用具	136,504	143,927	150,142	155,204	159,356	充足	充足	上昇傾向
住宅改修	15,597	16,423	15,803	22,025	15,513			停滞
特定入所介護	185,715	183,421	192,898	195,910	211,501	不足	充足	上昇傾向
居宅介護支援	255,921	267,292	277,079	284,056	284,289	—	—	上昇傾向
居宅療養管理指導	36,674	39,486	43,341	45,634	48,298	—	—	上昇傾向
施設サービス	2,095,260	2,137,119	2,127,111	2,156,538	2,135,995			停滞
小規模多機能	3,692	3,731	3,795	3,793	3,827	—	—	上昇傾向
グループホーム	322,857	329,831	335,336	330,392	340,045	充足	—	上昇傾向
特別養護老人	966,619	1,038,865	1,115,917	1,156,984	1,190,293	充足	充足	上昇傾向
老人保健施設	788,175	747,605	657,174	655,417	612,550	充足	充足	下降傾向
介護医療院等	13,917	17,087	14,889	9,952	5,296	—	—	下降傾向

※施設充足度は、令和4年5月に市内・市外指定居宅介護支援事業所を対象として実施した「介護サービスの過不足状況調査」結果より引用

※R4は、4～9月実績による推計値

※網掛け箇所は、前年比増を示す

○老健やすらぎの利用状況及び介護サービス実績について

1. 老健やすらぎの業務状況について

(1) 従事者数（令和4年12月現在）

医師1名、支援相談員2名、看護職員16名、介護支援専門員1名、
 介護職員17名、作業療法士1名、薬剤師1名、理学療法士2名、
 音楽療法士1名、管理栄養士1名、栄養士1名、技能実習生3名
 事務長1名（兼任）、事務職員4名、送迎運転手4名
 うち通所リハビリテーションスタッフ 12名
 入所及びショートステイスタッフ 28名

計56名

(2) 利用状況（令和4年12月分）

- ・通所リハビリテーション … 11.9人/日平均
- ・短期入所（老健） … 2.7人/日平均
- ・施設入所 … 21.4人/日平均

<参考>入所者の内訳（令和4年12月現在）

- i) 施設入所24名、
- ii) 男…5名、女…19名
- iii) 独居…12名、在宅介護困難家庭…12名
- iv) 認定状況別

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
—	—	1名	7名	9名	7名	—

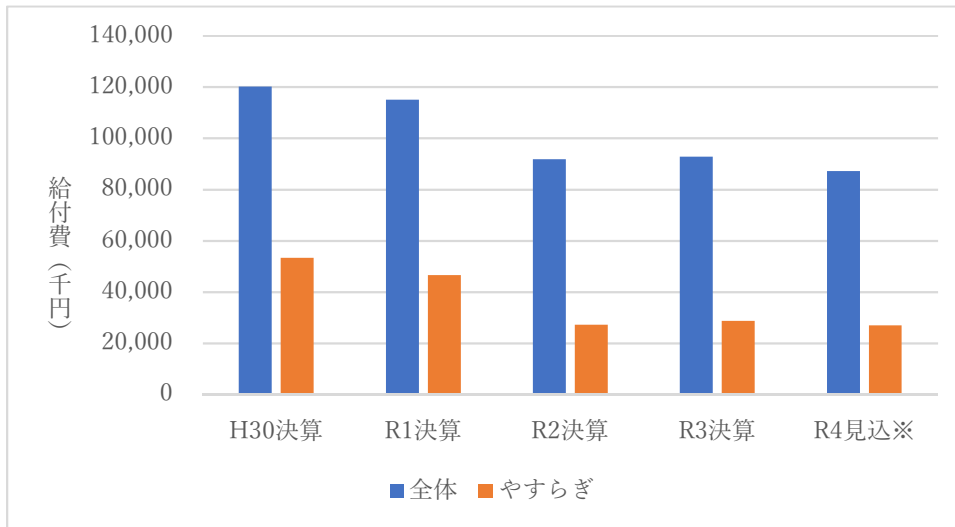
v) 他施設待機状況別

希望者	希望しない			
	1ヶ月で自宅	3ヶ月で自宅	6ヶ月で自宅	予定無し
17名	1名	2名	1名	3名

2. 居宅系サービス実績について

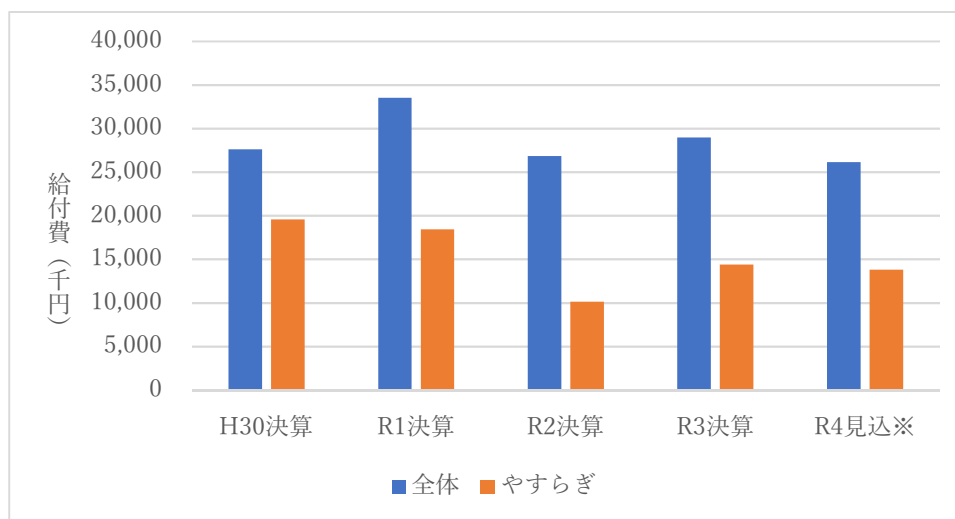
老健やすらぎで実施する居宅系サービスの種類別給付実績の推移は、以下のとおりです。

(1) 通所リハビリテーション（介護予防給付含む）



※「全体」は市の介護給付費の合計額
 ※「R 4見込」は9月までの実績をもとに算定

(2) 短期入所療養介護（介護予防給付含む）

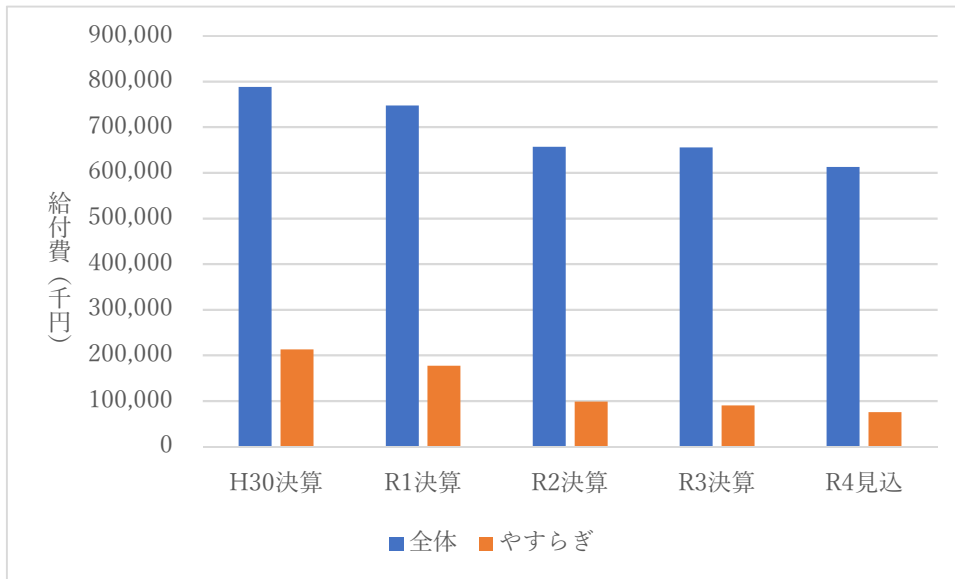


※「全体」は市の介護給付費の合計額
 ※「R 4見込」は9月までの実績をもとに算定

3. 施設系サービス実績について

施設系サービスの給付実績の推移は以下のとおりです。

(1) 介護老人保健施設



※「全体」は市の介護給付費の合計額

※「R4見込」は9月までの実績をもとに算定

○損益計算書

(単位：千円)

科目名	令和2年度	令和3年度
事業収益	212,161	197,880
老健介護料収益	155,174	127,315
居宅介護料収益	44,093	51,094
老健利用料（非課）	12,705	10,953
他老健収益（課）	189	156
諸引当金戻入	0	8,362
事業外収益	591	506
運営補助（指定管理）	20,000	20,000
特別利益	1,110	0
収益計	233,862	218,386
事業費用	340,847	342,126
医業費用	64,025	63,980
老健施設費用	6,493	6,325
給与費	183,815	176,005
研究研修費	96	180
業務費	28,505	35,753
指定管理者負担金	38,072	38,069
設備関係費	4,785	5,976
諸引当金繰入	8,362	7,882
共通管理費	6,694	7,956
事業外費用	0	0
特別損失	0	0
費用計	340,847	342,126
当期剰余金	-106,985	-123,740

※当期剰余金にマイナスが生じた場合は市の交付金を充当する。